

令和2年度生駒市「いじめ防止」月間小中学校取組

今年度は学校再開に合わせた児童生徒の心のケアに焦点を当てた取組についての報告

小学校	
生駒小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・長期化した学校の臨時休業により児童が受けている心の影響(ストレス)を理解し、スクールカウンセラーを交え、状況に応じたケアを行うためのスクリーニング会議を行った。 ・生駒小学校令和2年度いじめ防止基本方針に基づき、特別の教科「道徳」のなかで、仲間の気持ちや自分自身ができる行動について考える機会を設けた。 ・児童の仲間関係、心の状況を理解するため、いじめに関するアンケートの実施した。その後、個別の聞き取り、指導を行い、教職員間で指導の在り方や今後の見通しなどを共有した。 ・不登校児童の家での様子を知り、家庭との連携を図る学校としての手立てを考えるため、保護者、担任、学年主任、通級指導教員、生徒指導主任、管理職から成るケース会議を行った。
生駒南小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・休校期間中の児童の実態の把握するために、全校生徒を対象にストレスチェック実施し、各担任が結果を集計した。この中で特に「心配」であると判断した児童について教職員間で情報を交換を行うとともに、保護者とも密に連絡をとり、児童が安心して登校できるよう連携を図った。 ・生駒南小学校いじめ防止基本方針を職員間で再確認し、学校全体でいじめのない学校づくりをさらに推し進める取組を行った。 ・各学年において、道徳や学活等の学習活動を通して、いじめのない学級・学年・学校・社会を創ることの大切さを全児童に考えさせた。 2年生：自分や友達の良さを見つけることで、自他を大切にすることを養った。(道徳) 3年生：教科書の題材「友だち屋」を活用して、友だちになるときに大切にすることを話し合った。(道徳) 5・6年生：赤十字社作成「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」を活用して、偏見や差別のない社会(いじめのない学校)の実現について考えた。(学活) ・全校朝会において、月当番の担当者が、月目標の「友だちの良いところを見つけよう」に関連した話の中で、いじめのない学校づくりの大切さについて呼びかけた。
生駒北小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・全校児童を対象に行ったストレスチェックをもとに、スクールカウンセラーがスクリーニングを行い、その結果を元に気になる児童について教育相談を行ったり、担任と情報共有を行ったりすることを通して、児童理解に努めた。 ・全校児童に対して学校長が、相手を思いやり、差別やいじめのない学校づくりについての話を行った。 ・いじめ防止リーフレットを新入生に配布した。 ・生徒指導・特別支援の研修を行い、教職員が児童の様子について互いに情報を共有し、共通理解を図った。 ・新型コロナウイルス感染症に関する資料や動画を通して、いじめを助長する偏見や差別の怖さについての学習に取り組んだ。
生駒台小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①校内連絡会 <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の担任と、いじめ問題で配慮の必要な児童の情報交換をした。 ②臨時休業中の児童実態把握 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問を行い、インターホンを通して児童やその親と話をした。 ・配慮の必要な児童がいる家庭には、週に1回程度電話連絡をして、本人と話をしたり親から児童の様子を聞いたりした。 ・短時間ではあるが、google meetを使って児童の表情を確認した。 ③「ストレスチェック」 <ul style="list-style-type: none"> ・全児童を対象としたアンケートをした。 ・スクールカウンセラーを中心に、担任や学年主任、管理職、養護教諭、生徒指導主任によるスクリーニング会議を行った。大勢で多角的に児童理解をはかることができた。 ④電話教育相談「あすなろダイヤル」の紹介カードを1・4年生全員に配布した。 ⑤各種相談窓口の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・学校だより等を活用して、校内及び校区スクールカウンセリングの紹介や、県の相談窓口の周知を図った。 <p>※6月に行う予定だった人権・特別支援部主催の全体研修「児童理解」を今年度は7月に行う予定である。</p>
生駒東小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生以上にストレスチェックを行い、担任と児童の二者面談をし、休校期間中の家での様子や、不安な事、心配な事などが無いか確認をし児童理解に努めた。(SNSなどのトラブルやいじめなどが無かったかも確認した) ・生駒東小学校「いじめ防止基本方針」を職員間で再確認した。 ・全校集会(放送)で校長先生が、いじめについて話をされた。

真弓小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒を対象に行ったストレスチェックをスクールカウンセラーに閲覧してもらい生徒理解に努めた。注意すべき数値の説明や個々の注意児童の担任へは状況聞き取りと対応などについて面談をした。 ・健康チェックなど児童の健康状態を確認し、変化を見落とさないよう対応している。 ・個々の児童との対応を通して、保護者とも小まめに連絡を取り状況確認をしている。 ・日記などを通して児童の状況把握に努めている。
俵口小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・全校児童を対象に、学校再開に合わせた児童生徒の心のケアのためのストレスチェックを実施した。ストレスチェックや学校での様子、登校状況に基づき、気になる児童について、学年間でその状況を共有することにした。また、管理職にも報告し、ケースによっては、全教職員で共通理解に努めた。必要に応じて、全職員による組織的な指導、支援にあたるようにした。 ・担任が、児童と面談をもって休校中の様子について聞き取りをおこなったり、積極的にコミュニケーションを図ったりして、児童との関係性を強め、児童の安心感が高まるよう努めた。また、児童の様子について、保護者と連絡を取り合うようにした。 ・新入生を対象に「いじめ防止リーフレット（生駒市教育委員会）」を配布した。 ・7月には、「俵口小学校いじめ基本方針」を再確認し、昨年度、2学期に実施したいじめアンケートで名前のあがった児童のその後の様子について、継続的に見守っていくことをあらためて共通理解する。 ・全校朝会（放送）で、学校長より「いじめのない学校づくり」についての話をを行った。
鹿ノ台小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・全校児童を対象に行ったストレスチェックをスクールカウンセラーにも目を通していただき、そのアドバイスのもと、管理職・担任とともに生徒理解に努めた。 ・ストレスチェックで気になる児童については、担任が児童に聞き取りをして、休校期間中の家での様子や、不安な事、心配な事などが無いか確認をおこなった。 ・全校登校が再開後の学校・家庭での様子が気になる児童について、全職員で研修を実施し、情報共有に努めた。 ・鹿ノ台小学校学校いじめ防止基本方針を職員間で再確認し、学校全体でいじめのない学校づくりをさらに推し進めるための共通理解に努めた。 ・定例生徒指導部会において、各学年・全校における生徒指導事象やその他の課題についての確認と検討の場を設けた。
桜ヶ丘小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・全校児童を対象にストレスチェックを行った。学級担任が子どもたちの回答をまとめ、気になる子には声をかけ個別に対応していている。 ・ストレスを抱えている児童の保護者からの相談を受け、カウンセラーに児童の学校での様子を観察してもらい、保護者との面談を設けて、保護者の児童に関する心配や悩みを伺った。 ・毎月発行する学校だよりで、具体的達成目標として、お互いにあたにかい言葉をかけられる雰囲気作りを努めることを設定したことを保護者に伝えた。 ・6月ではあるが学校が再開されたばかりなので、子どもたちの間でトラブルがよく起こっている。学年教師集団で対処について話し合った後、学級担任がなぜその時困ったのか話をよく聞き、どうすれば仲良く活動することができるのか子どもたちに考えさせるようにしている。
あすか野小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・全校児童を対象に行ったストレスチェック「心と身体の様子をきかせてください」をもとに児童理解及びケアに努めた。また、前述のストレスチェックの自由記述をもとに担任と児童の二者面談を行い、臨時休業中等の家庭での様子、不安なことや心配なこと等が無いかの確認を行った（必要に応じてトラブルやいじめ等が無かったかも確認した）。 ・相談の申し出があった保護者に担任との二者懇談を行い、臨時休業中等の児童の様子や児童に関する心配や悩み等を聞いた。 ・あすか野小学校いじめ防止基本方針に関して職員で確認し、学校全体でいじめのない学校づくりをさらに推し進めていけるよう職員間でいじめ防止や対応等に関する児童理解の研修を行った。
壺分小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒を対象に行ったストレスチェックをもとに、スクールカウンセラーに分析いただき、情報共有することで児童理解に努めた。 ・投稿に関し不安定になっている児童に対し、保護者、または本人同席のスクールカウンセラーとの面談の声掛けを行った。 ・全職員で課題のある児童についての研修を行い、個々の課題や支援の在り方を共有した。
生駒南第二小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員で学校再開後の一人一人の児童の様子に変化がないか注視し、情報共有を行うとともに、必要に応じて家庭と連携し、個々の児童の見守りを行った。 ・全校児童を対象にストレスチェックを行い、児童の実態及び現状についてまとめたものを職員で共有した。生活指導部を中心に支援方法について検討している。 ・電話相談のチラシを全校児童に配布した。

中学校

<p>生駒中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒を対象にストレスチェックを実施し、スクールカウンセラーと共にスクリーニング会議を行ない、生徒理解に努めた。数人の生徒はカウンセリングに繋いだ。 ・担任と生徒の二者面談を行い、休校期間中の家での様子や、不安な事、心配な事などが無いか、確認をおこなった。合わせて、いじめ等の悩みを確認した。 ・6月17日、朝の会の時間に全校放送で、学校長よりいじめのない学校づくりの話を含めた、学校再開に向けての講話を行った。
<p>生駒南中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒を対象に行ったストレスチェックをもとに、スクールカウンセラーと共にスクリーニング会議を行い、生徒理解に努めた。 ・分散登校中の放課後に、全学級でふれあいタイム（二者懇談）を行い、休校期間中の家での様子や不安な事、心配な事を聞き取った。（SNSトラブルやいじめなどについても確認した） ・毎週、校内生徒指導部会を開き、生徒の情報共有を図った。 ・全教職員で、校内巡視（朝、昼休み、休み時間など）に努め、生徒の様子を見守った。 ・道徳教材を使い、いじめについての理解を深めた。
<p>生駒北中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒に対して、ストレスチェックアンケートを実施した。 ・ストレスチェックアンケートを参考に教職員とスクールカウンセラーとのスクリーニング会議を実施し、生徒理解に努めた。 ・6月18日から23日を教育相談週間として設定し、担任と生徒全員との二者面談を行った。 ・小中合同での生徒指導に関わる研修を実施（共通理解を図る）した。
<p>緑ヶ丘中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止リーフレットを新入生に配布した。 ・6月1日、2日に「こころのアンケート」を実施し、それをもとに、6月3日から16日を教育相談期間として、担任と生徒全員との二者面談を行った。これらによって把握した情報を全職員で共有した。また、スクールカウンセラーにもアンケート結果を分析してもらい、教育相談が有意義なものとなるよう心掛けた。アンケートは7月にも実施する予定である。 ・特別な支援を要する生徒への配慮、接し方について職員研修を行い、情報共有をおこなった。 ・放送による全校集会にて校長から、仲間への言葉かけ等、思いやりのある行動についての講話を行った。特に、新型コロナウイルス感染症に関連する配慮の無い発言については、強調した。
<p>鹿ノ台中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒を対象に「生活アンケート」を実施した。休業中の生活の様子に加え、いじめ等について問う内容であった。 ・「生活アンケート」を参考に、全校生徒を対象とした学級担任との二者面談を実施し、不安なこと、悩みごと、ストレスやいじめの有無等を確認した。 ・スクールカウンセリングの活用や奈良県教育委員会の電話相談、メール相談等の紹介を生徒・保護者に行い周知を図った。
<p>上中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒を対象に行ったストレスチェックをもとに、スクールカウンセラーと共にスクリーニング会議を行ない生徒理解に努めた。 ・学校独自のアンケートを行い、担任との二者懇談を実施している（7月10日まで継続中）（休校中の様子や困ったことはなかったかなど） ・電話教育相談（あすなろダイヤル）のプリントを全生徒に配布した。 ・上中学校いじめ防止基本方針を職員間で再確認し、学校全体でいじめのない学校づくりをさらに推し進める取組を行った。
<p>光明中学校</p>	<p>6月からの分散登校開始に先立って、校内で独自アンケートを実施した。臨時休業中の生活や様子、再開にあたっての不安等を数値及び記述させる形式のもので、その回答を踏まえて、特に気になる生徒には声掛け等を行った。</p> <p>6月第2週に希望制の保護者と担任の面談を実施した。年度当初の家庭訪問に代わるもので、そこで得られた情報を生徒理解に活用した。</p> <p>6月最終週に学校生活アンケートを実施した。主に学校生活上の悩みを拾い上げる内容で、いじめに関する質問も含んでいる。この回答をもとに、7月には全生徒が担任との二者面談を行う。</p>
<p>大瀬中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒を対象に行ったストレスチェックをもとに、会議を行ない生徒理解に努めた。 ・ストレスチェックの結果から、気になる生徒と担任での二者面談を行い、休校期間中の家での様子や、不安な事、心配な事などが無いか確認をおこなった。 ・教職員間で、上記の二者面談にて得た情報共有を行った。